

FA・社会ソリューション

モノづくり産業の生産性向上と 社会生活の質向上に貢献します。

環境面における「カーボンニュートラルなモノづくり」、安心面における「人の可能性を広げる社会構築」を事業の理念に掲げ、お客様の困りごとに真摯に向き合い、お客様にとってのベストな解決策となるソリューションを提供することで、産業・社会の発展に幅広く貢献していきます。



FA事業推進部担当役員
海老原 次郎

事業の強み

グローバル約130工場の製造現場で 徹底的に磨き上げてきた生産財

自動車部品生産ラインで磨き上げてきた高品質・高耐久な設備と、ロボットやセンサなどコアなFA機器を用いて、機器単体から工程・モジュール単位へと領域を広げながら、産業・社会の生産性向上に貢献します。

70年以上にわたりデンソー製品を 支えてきたモノづくりのノウハウ

フレキシブルでムダのないモノづくりのノウハウと自動化技術(リーン・オートメーション)を用いて、労働力不足・カーボンニュートラル・DXといった製造業が直面する深刻な課題を解決します。

デンソーが開発したQRコード®を用いた 安心・安全な社会ソリューション

国際基準(ISO/IEC18004)を取得した、2000年以降も進化を続けるQRコード®と、その読み取り技術を用いて、今後は外部アイデアも取り入れながら、新たな領域・用途に向けた価値を創出します。

事業を通じた社会課題解決

人とロボットが協働できる産業・社会づくりへの貢献

高速人協働ロボットCOBOTTA® PROの市場投入を開始しました。独自開発の軽量高剛性トルクセンサを採用することで業界トップクラスの高速性を実現。併せて、高性能接触センサ・タッチセンシングソフトカバーの採用により安全性も両立させることで、人とロボットが安心して協働する産業・社会づくりに貢献します。製造業における単純作業や組み立て・検査作業など、これまでロボットが導入されてきた領域にとどまらず、食品分野における計量や盛り付けなど、自動化や人とロボットとの協業が難しいとされてきた新たな分野にも提案を進めています(2022年10月、先進性が評価されグッドデザイン賞を受賞)。

※ COBOTTAはデンソーウェーブの登録商標です。



COBOTTA® PRO

貢献するSDGs



苦手な方々が取り残されるといった課題も存在しています。そこでデンソーは紙商品券とQRコード®を組み合わせた「QR補助金申請システム」を開発。誰もが使える商品券と、加盟店や自治体の事務作業効率化を両立させました。本システムは東京都中野区の商品券事業への提供を完了し、現在は全国の自治体での採用に向け、提案を進めています。

健康・健全な社会に貢献する服薬管理サービス

高齢化社会の加速に伴う課題の一つが在宅医療の充実です。在宅で多数の薬を服薬する患者が増加する中、間違いのない服薬環境の提供と、薬局における服薬状況の一元管理・薬学的指導の実施が求められています。こうした課題に対しデンソーは、ヘルスケアサービス企業と共同でIoT・自動認識技術を活用した服薬管理サービスを開発しました。通信機能付きの薬箱を患者の自宅に設置し、取り出した薬を自動で検知・記録するとともに、サーバーを通じて服薬状況を薬局や家族などの関係者で共有します。こうしたサービスは安心・安全な服薬管理の浸透に加え、残薬による医療保険財政への影響緩和にもつながります。



通信機能付きの薬箱

QRコード®創造企業として産業・社会の課題解決に注力

デンソーは、誰もがより豊かに過ごせる社会づくりに取り組む一環として、プレミアム付商品券事業へ貢献しています。経済活性化のため多くの自治体で実施されている商品券事業ですが、電子化が進む一方、機器を保有していない、あるいはデジタルが